

## 2015年度 北海道サケネットワーク総会 要録

日時： 2015年11月7日13:00～

場所： 佐藤水産文化ホール

開会の挨拶 北海道サケネットワーク代表・河村 博

### 【報告事項】

#### 1. 2014年度および2015年度の活動

- 1) 2014年度総会開催（2014年10月8日、於 佐藤水産文化ホール）
- 2) 会報8号発行
- 3) ニュースレター発行：45～48号

### 【協議事項】

#### 1. 2014年度決算報告および監査報告

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	摘要	科目	予算額	決算額	摘要
前期繰越金	52,035	68,062		手数料	2,000	990	
会費	42,000	53,000		通信費	5,000	2,084	
寄付	0	0		消耗品	2,000	602	
				会議費	10,000	44,729	
				会報費	0	0	
				予備費	75,035	1,980	
				次期繰越	0	70,677	
合計	94,035	121,062		合計	94,035	121,062	

北海道サケネットワークの2014年度（2014年1月1日から2014年12月31日まで）の会務，並びに会計の収支決算報告について，関係諸帳簿などを監査した結果，適正に執行・処理されていると認めます。

2015年1月28日

監事 安達 宏泰

監事 荒木 數男

以上により，2014年度の決算が意義なく承認された。

#### 2. 2015年度予算執行状況

2015年9月末現在の執行状況の中間報告がなされた。

《収入の部》

科 目	15年度予算額	9月末までの収入額	決算見込額
前期繰越金	41,062	70,677	70,677
会 費	42,000	29,000	42,000
寄 付	0	0	0
合 計	83,062	99,677	112,677

《支出の部》

科 目	15年度予算額	9月末までの執行額	決算見込額
手 数 料	2,000	390	2,000
通 信 費	5,000	1,678	5,000
消 耗 品 費	2,000	4,287	5,000
会 議 費	10,000	14,472	30,000
会 報 費	0	0	0
予 備 費	64,062	1,480	30,000
合 計	83,062	20,827	72,000

(次年度繰越金 112,677 - 72,000 = 40,677)

### 3. 2016年度活動計画ならびに予算案

1) 活動計画

会報9号の発行

ニュースレターの発行

2016年度総会の開催ならびにサケ会議の共催

2) 予算案

収入の部				支出の部			
科 目	前年度予算	16年度予算	増減	科 目	前年度予算	16年度予算	増減
前期繰越金	41,062	40,677	-385	手数料	2,000	2,000	0
会 費	42,000	42,000	0	通信費	5,000	5,000	0
寄 付	0	0	0	消耗品	2,000	2,000	0
				会議費	10,000	10,000	0
				会報費	0	0	0
				予備費	64,062	63,677	-385
合 計	83,062	82,677	-385	合 計	83,062	82,677	-385

上記の活動計画案ならびに予算案が意義なく承認された。

#### 4. 役員の補完

昨年度の代表交代にともなう役員数の減少について協議され、現員のまま据え置くこととなった。以下、2015年度の役員。( )内は定数。

代表(1)	河村 博	サクラマスサンクチュアリーセンター
副代表(1)	寺島 一男	大雪と石狩の自然を守る会
事務局長(1)	木村 義一	北海道サーモン協会
幹事(若干名)	市村 政樹	標津サーモン科学館
	千葉 養子	とちち・帯広サケの
監査(2)	安達 宏泰	水産総合研究センター
	荒木 敷男	えにわ市民サケの会
顧問	浦野 明央	北海道大学名誉教授

#### 5. その他

《北海道サーモン協会が2016年春に解散を決定(ネットワークの年度途中)。このため、2016年度ネットワーク総会までの事務局体制の維持およびサケ会議継続のため、同協会では当面の対策として後継の団体の設置を検討している。この新規団体の入会と、次の総会までの事務局を承認願いたい》との提案があり、承認された。

#### 【情報交換】

本ネットワーク参画団体から以下の情報提供があった。

- 北海道さけます内水面水産試験場  
サケの来遊は9月に多く、10月に減少。爆弾低気圧の影響か。漁網に被害。
- 標津サーモン科学館  
標津小学校でサケの授業を継続。上流域へサケ親魚を遡上させる試み。
- 岩手大学三陸復興推進機構  
農学部の水産コースを新設。水産の6次産業化。岩手県のサケの漁獲が減少。震災の影響大。漁業の復活が必須。
- 札幌市立東白石小学校  
サケ稚魚の放流を継続。稚魚を育てる喜び、命の大切さを学習。
- 札幌市豊平川さけ科学館  
豊平川に“順応的管理”を導入。野生魚を育て、人工放流を削減。今年は20万尾から8万6千尾へ。琴似発寒川では100尾以上の野生親魚を確認。
- 丸水札幌中央水産(株)  
輸入鮭鱒が増加。中国への輸出に左右される。天然サケをアピール。
- 大雪と石狩の自然を守る会

2003年から旭川周辺の石狩川でサケを確認。2011年には群れで遡上。産卵床調査を継続。市民の関心が高まっている。

- 十勝川の生態系再生実行委員会  
大掛かりな活動から、小学校への出前授業など小規模な活動へ移行。
- 北海道サーモン協会  
サケ学習国際交流カナダ派遣事業、公開市民講座、夏休み親子サケ教室、サケ稚魚体験放流・サケフェスタへの協力、豊平川河畔の清掃活動等を遂行。諸事情により今年度をもって協会の解散を予定。